

# 褥瘡予防に関する指針

社会福祉法人 湧別福祉会

改訂 2021年10月

初版 2007年 3月

## 1. 褥瘡発生予防に関する考え方

高齢者は低栄養状態や活動の低下、疾病に伴う寝たきり状態に陥りやすく、褥瘡が発生するリスクがあります。特に施設を利用しておられる方には、加齢に伴い心身の機能が低下している方が多くおられ、そのリスクは高いと思われまます。

私たちはこうしたリスクを持つ利用者の健康な生活を維持していくため、多職種協働のもと質の高いサービスの提供をします。そのためにはこの指針に従い褥瘡発生予防に対する体制を確立し、褥瘡予防する適切なケアを目指します。

## 2. 褥瘡発生予防に向けての基本方針

### 1) 褥瘡発生予防に対する体制の整備

①褥瘡対策委員会の設置

②褥瘡対策担当者の設置

### 2) 多職種協働によるチームケアの推進

各職種の専門性に基づくアプローチからチームケアを行う事を基本とし、それぞれの果たすべき役割に責任を持って対応します

### 3) 外部の褥瘡予防等の専門家との連携

### 4) 職員に対する教育・研修の実施

## 3. 褥瘡対策委員会の設置

### 1) 設置の目的

利用者の褥瘡予防と発生時における対応の検討を行い、適切なケアの提供を目的とします

### 2) 褥瘡対策担当者は看護職員とします

### 3) 委員会の構成員

①看護職

②介護職（各ユニット）

③管理栄養士

④生活相談員（業務係長）

⑤介護支援専門員

⑥その他施設長が必要と認めるもの

### 4) 委員会の開催

年に4回以上開催の他、必要時には随時開催します

### 5) 委員会の役割

①褥瘡予防及び発生時に向けた対応の検討

②指針及び各種マニュアルの見直し

③適切な介護用具の選定

④褥瘡予防及び発生時の対応に関する研修の企画・実施

#### 4. 職員に対する教育・研修

- 1) 褥瘡予防及び発生時の対応に関する研修会を1回以上/年開催します
- 2) 新規採用者に褥瘡発生予防の教育・研修を行います

#### 5. 褥瘡予防の対応及び治療の対応

##### 1) 褥瘡リスクの評価

早期の対応を行うため、以下の方法を用いて褥瘡発生にリスクを評価し、ハイリスク者を抽出します

##### 【評価方法】

- ①OH スケール・・・介護用具の選択
- ②DESIGN-R®・・・褥瘡状態判定スケール

#### 6. 褥瘡発生予防に関する各職種の役割

##### 1) 施設長

- ①褥瘡発生予防の統括管理

##### 2) 看護職員

- ①医師又は協力病院の連携を図る
- ②褥瘡処置への対応
- ③ケアプランに盛り込む褥瘡ケア計画の提案と経過記録の整備
- ④個々に応じた体位交換、安楽な座位確保の工夫
- ⑤褥瘡発生予防対策の提案
- ⑥職員への専門的知識・技術に関する指導

##### 3) 管理栄養士

- ①褥瘡の状態把握と栄養管理
- ②栄養マネジメントにおける状態の把握と利用者の管理
- ③食事摂取低下に伴う栄養保持の工夫
- ④医師・看護職員等との連携
- ⑤職員の栄養管理に関する指導

##### 4) 生活相談員・介護支援専門員

- ①ケアプラン（褥瘡ケア計画）に基づくチームケア
- ②外部専門機関との連携・調整
- ③家族への対応
- ④褥瘡発生予防の取り組みと体制づくり
- ⑤ケアカンファレンスの調整

##### 5) 介護職員

- ①きめ細やかなケアと衛生管理
- ②ケアプラン（褥瘡ケア計画）に基づく排泄、入浴、清潔保持
- ③個々に応じた体位交換、安楽な座位確保の工夫

- ④褥瘡の状態観察と記録の把握
- ⑤苦痛を排除する精神的緩和ケアとコミュニケーション
- ⑥褥瘡発生子防の取り組み